

# 信用保証トピックス (令和7年4月)

## これまでの振り返りと今年度の取組について

### ■保証承諾、保証債務残高、代位弁済の推移

#### ① 保証承諾の状況

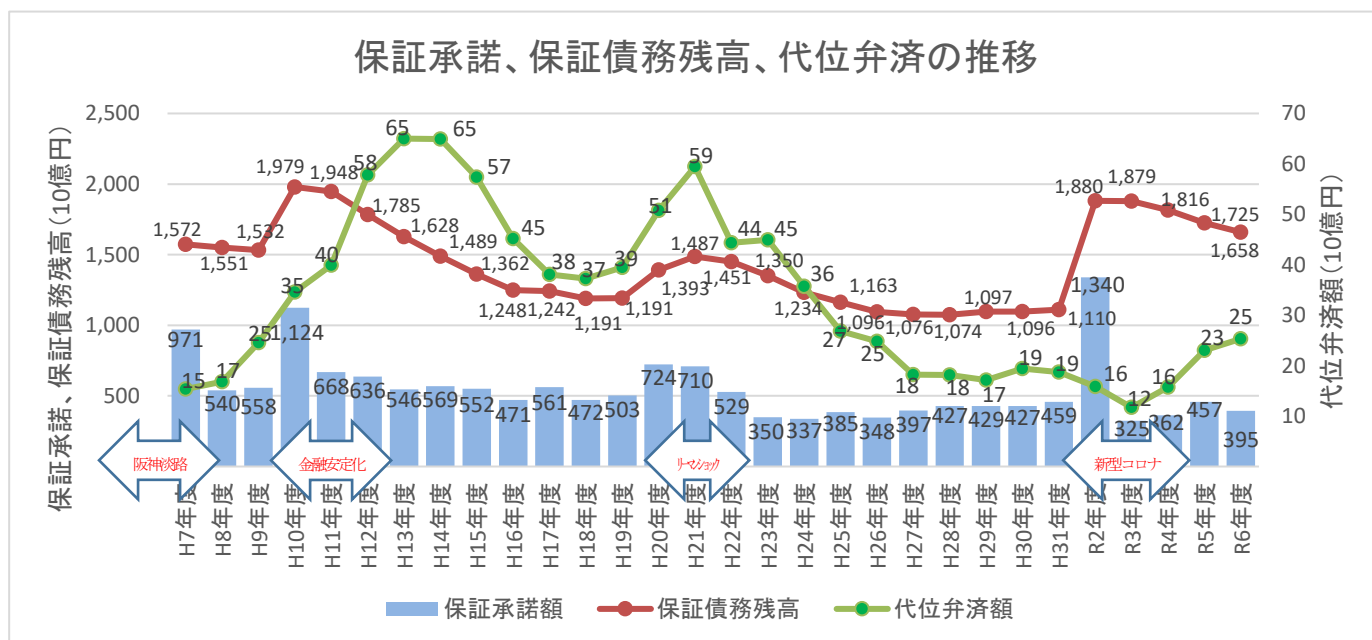
- ▶ 令和2年度は、コロナ禍に伴うゼロゼロ融資による大規模な資金繰り支援の実施により、これまでの経済危機時等の実績を大きく上回る1兆3,396億円の保証承諾（過去最大）となりました。
- ▶ 令和3年度はゼロゼロ融資の反動等により保証承諾は減少し、その後は国による保証料一部補助の対象となる「伴走支援型特別保証制度」の取扱開始等により、緩やかな増加傾向となっていました。令和6年度は6月末に同制度の保証取扱が終了したことが影響して保証承諾は減少しました。

#### ② 保証債務残高の状況

- ▶ ゼロゼロ融資の実施等により、令和2年度は1兆8,805億円となり、「中小企業金融安定化特別保証制度（金融安定化保証）」を取扱った平成10年度、同11年度に次ぐ過去3番目の水準となりました。
- ▶ 令和3年度はゼロゼロ融資の利子補給や返済据置等によって微減となるも、その後は、ゼロゼロ融資の返済本格化等により償還が保証承諾を上回り、保証債務残高は減少しました。

#### ③ 事故・代位弁済の状況

- ▶ ゼロゼロ融資の大規模実施により令和2年度は事故報告が大きく減少し、令和3年度の代位弁済は平成7年度以降最も低い水準となりました。
- ▶ しかしながら、ゼロゼロ融資をはじめとするコロナ関連融資による過剰債務を抱える事業者が多くいる中、原材料価格の高騰や人手不足の深刻化等を背景として事故・代位弁済は増加傾向に転じており、ゼロゼロ融資の返済が本格化した令和5年度はコロナ禍前の平成31年度を上回る水準となりました。
- ▶ 上記のように、現状、代位弁済が増加傾向にあります。今のところ過去の経済危機時の水準までには至っておりません。これは、ゼロゼロ融資の返済据置や利子補給などの支援措置のほか、当協会や金融機関による借換等の資金繰り支援やモニタリングに基づく経営支援の実施が背景の一つとして考えられます。



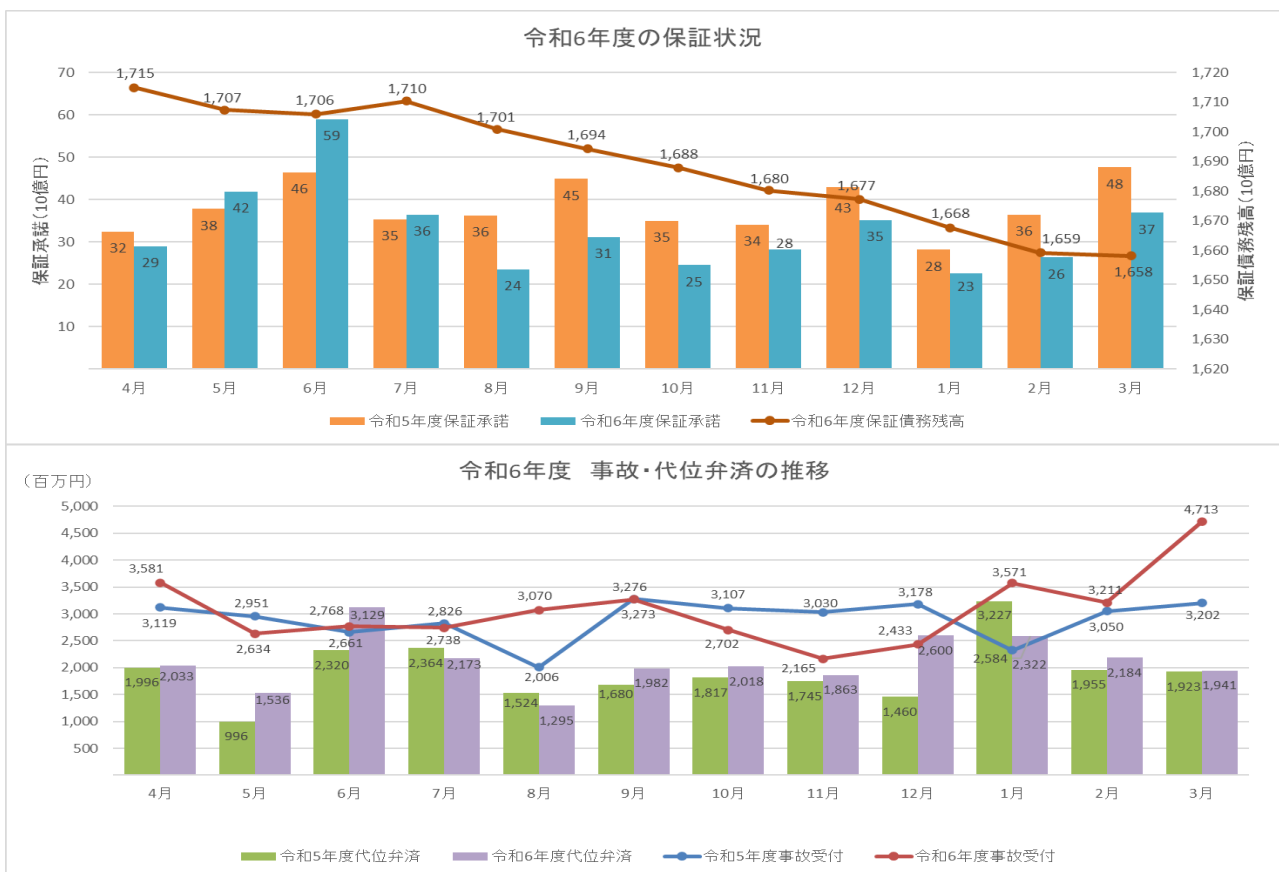
## ■令和6年度の状況

### ① 保証の状況

- 保証承諾は、6月末に「伴走支援型特別保証制度」の保証取扱が終了し、8月以降減少傾向で推移し、前年同期比で86.3%となりました。
- 保証承諾の減少に伴い、保証債務残高も8月以降減少傾向で推移し、前年同月比96.2%となりました。

### ② 事故・代位弁済の状況

- 事故報告の受付は、前年同期比106.1%と増加しました。ゼロゼロ融資の返済本格化や原材料価格高騰の影響等により、経営に支障を来している事業者が増加していることが窺えます。
- 事故の増加に伴い、代位弁済も前年同期比110.1%と増加しましたが、過去の経済危機時と比較すると増加幅は緩やかになっています。これは、返済据置や利子補給、さらには借換等による資金繰り支援や経営支援が要因の一つと考えられます。



## ■令和7年度の当協会の取組

- 今年度についても、原材料価格の高騰や人材確保のためのコスト増加など事業者を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、引き続き事故・代位弁済は増加傾向で推移する恐れがあります。
- 事業者支援のフェーズが資金繰りから経営改善・事業再生に移行する中、当協会では、資金繰り支援にとどまらない、一歩先を見据えた早期の経営支援に取り組むため、金融機関や関係機関と緊密に連携し、事業者寄り添いながら、以下の項目を重点的に実施し、積極的に事業者支援に取り組めます。

- ✓ 保証時の現地調査と保証後のモニタリングによる「対話型支援」を推進し、事業の継続、発展に向けた事業者の取組を後押しします。
- ✓ 協会が主体となった「フォローアップ型」経営支援を推進し、事業者の経営課題や状況の変化の兆候の把握と課題の解決提案に努めます。



兵庫県信用保証協会

TEL078-393-3922 (総務企画部 企画調整課)